

## レタスで斑点細菌病および菌核病が多発しています

下葉や株元をよく観察し、適切に防除を行いましょう！

### [現在の状況]

- ① 10 月上旬現在、斑点細菌病の発病株率（本年値 2.5%，平年値<sup>※1</sup>0.3%）（図 1）および発生地点率<sup>※2</sup>（本年値 40%，平年値 3%）は、ともに平年より高い。
- ② 10 月上旬現在、菌核病の発病株率は平年よりやや高く（本年値 2.0%，平年値 0.8%）（図 2），発生地点率は平年より高い（本年値 47%，平年値 22%）。
- ③ 10 月 5～6 日の台風 18 号，10 月 13～14 日の台風 19 号による坂東市での延べ 4 日間の総降水量は 238.5mm であり，風雨により発病が助長された可能性が高い。

※ 1 過去 10 年間の調査データの平均値。

※ 2 圃場巡回調査（県西地域 18 ほ場）で，発病が見られた圃場の割合。

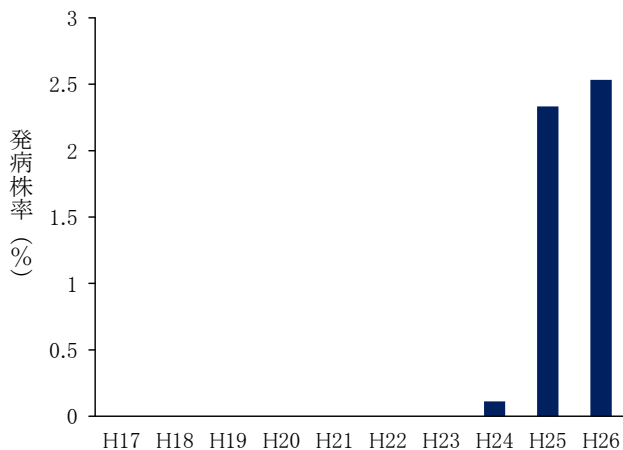


図 1 10 月上旬における斑点細菌病発病株率の年次変動

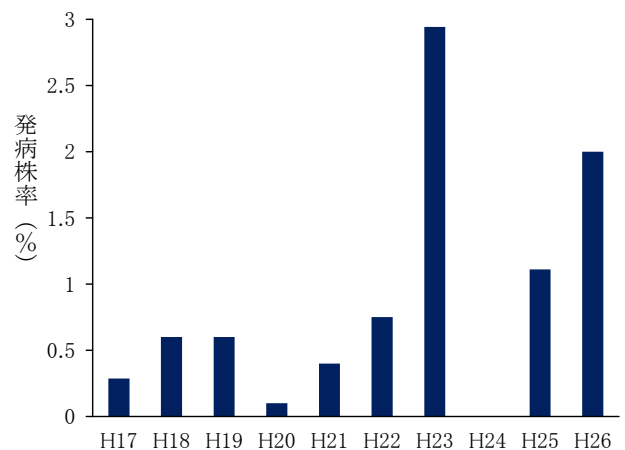


図 2 10 月上旬における菌核病発病株率の年次変動

### [防除対策]

#### 【共通】

- ・排水不良は発病を助長するため，排水対策を行う。
- ・気温がやや低く，降雨が多いと発生が多くなるため，気象条件を考慮しながら防除を行う。
- ・多発すると防除が困難となるため初期防除を徹底する。また，降雨が続く場合には降雨の合間に防除を実施する。
- ・薬剤散布は，薬液が葉裏や株元にも届くよう丁寧に行う。また，薬剤を散布する際は収穫前日数，使用回数等に十分注意する。

#### 【斑点細菌病】

- ・病斑が下葉から上位葉に進展した場合は，結球葉にも被害が進む可能性があるため，早めに収穫する。
- ・被害葉は翌年の伝染源となるため，圃場外に持ち出し適切に処分する。
- ・一部の雑草も伝染源となるため，圃場衛生に努め，収穫後も雑草管理を行う。

#### 【菌核病】

- ・発病を認めた場合は，菌核が形成される前に発病株を圃場外に持ち出し適切に処分する。